日常のお手入れと保管

アルミホイールは耐腐食性に優れていますが、凍結防止剤や塩分に弱く、ホイールの腐食等を避けるため、海辺や雪道・泥道等を走行した後は、十分に水洗いし柔らかい布等で水分を完全に拭取ってください。
スポンジ等のご使用や一部コンパウンド等での磨きも傷付きの原因となります。
市販のホイールクリーナー（洗浄液）・ボディクリーナーの中には、変色・シミ・ムラの原因となる成分のもの（酸やアルカリ性の強いもの・研磨剤の入っているもの）がありますので、説明書をよく読んでからご使用ください。
洗車機での洗車は、ホイールを傷付けることがあります。手作業での洗浄をお勧めします。

保管について

タイヤ・ホイールの保管は、きれいに洗浄した後、十分に乾燥させて直射日光・雨・水分・油類・高温多湿のところを避けて保管してください。
長期保管の場合は装着されていた位置を記録し、タイヤの空気圧を使用時の1/2程度に下げてください。
再度ご使用の際は、タイヤの空気圧の補充・空気圧の点検・バランスの調整を行い、タイヤ・ホイールに異常がないことを確認し装着位置に注意してご使用ください。

その他のご注意

ホイールの修理、加工は絶対にお止めください。不適切な加工、修理は見た目では分からない強度不足を招き大変危険です。

マグネシウムホイールの取扱い

スピードラインにはH.T.C.製法によって作られるマグネシウムホイールが設定されています。材質の特性により、塗装や防錆処理が剥がれたら速やかに補修してください。大気に暴露すると水分や酸素と反応して腐食は引起こされ、急激に強度が低下します。
塩分にも弱く、海に近い場所に保管する場合は頻繁に水洗いしないと錆が発生する場合があります。
軽量化できる反面、衝撃に弱く泥道・街乗り等で過大入力があるとクラック・破断の原因となる場合があります。装着後は定期的に点検を行ってください。
スチール製ハブと接する場合、腐食の原因となります。必要に応じてハブリングを挟込んでください。

SPEEDLINE Corse 正規輸入販売代理店
株式会社タニダ　名古屋市昭和区鶴舞2-3-17　TEL（052）871-3741
WEB：http://www.tanida-web.co.jp　Email：info@tanida-web.co.jp

speedline Corse

— 取扱説明書 —

本書は大切に保管してください

装着・ご使用上の注意

アルミホイールを正しく安全にご使用いただくために、以下の内容を必ずお読みになり、厳守してください。

ここで使用している表記と意味は下記の通りです。

⚠ **危険**　**取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性が極めて高い内容です。**

⚠ **警告**　**取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性のある内容です。**

⚠ **注意**　**取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性のある内容です。**

タイヤを組付ける前に

■ホイールの選定と確認

■適合するタイヤの選定と確認
ホイールのサイズ・ET（インセット）・取付け穴数・P.C.D.・取付け面形状等が、装着する車両に適合していることを確認してください。これらが適合しない場合、装着できません。

⚠ **警告**　車軸ごとに同じサイズ、同じ品種のホイールを装着してください。
異なったホイールを混合させると操縦性、安定性が失われる場合があります。

⚠ **注意**　ホイールとタイヤのサイズが適合しない場合、タイヤ及びホイールが損傷する場合があります。

バルブの装着とタイヤの組付け

■エアバルブの締付け

クランプイン（ナット締め）タイプのバルブのナットは、メーカー指定トルクで締付けてください。
タイヤの組付け時には、バルブも新品の専用バルブに交換してください。
古いバルブをそのまま使用しますと、グロメット（エアシール用ゴムパッキン）等のゴムの劣化で空気が漏れることがあります。

 注意 バルブは付属の専用バルブをご使用ください。
それ以外のバルブを使用しますと、寸法、形状が合わず空気漏れが発生することがあります。

■タイヤの組付け

アルミホイールには、タイヤをアウター側から組付けるタイプと、インナー側から組付けるタイプがありますので、確認の上、各々のリム形状に合った方法でタイヤの組付けを行ってください。タイヤ組付けの際には、必ずビード部に潤滑剤を塗布してください。
使用空気圧の充填は、タイヤビードがリム周上に均等に載っていることを確認して行ってください。

警告 タイヤの組付けのための空気充填は、安全囲いの中に入れる等安全措置をとった上で、空気圧300以下で実施してください。

 注意 タイヤ組付け後は、水槽・石鹸水等でタイヤとリムの嵌合（合わせ目）・バルブ等から空気漏れが無いことを確認してください。バルブの空気漏れの確認はホイールのバルブ穴・バルブ口の双方を確認してください。

ホイールバランスは、必ず全輪を調整してください。バランスが狂ったまま走行しますと、異常な振動や操縦性、安定性の低下を招く場合があります。

センターキャップについて

本製品は競技用ホイールのため、センターキャップ・センタープレートは付属しません。（一部除く）

車両への装着

■タイヤの組付け

ホイールの取付けナット座（ボルト座）は、60度テーパー座となります。形状に合ったナット（ボルト）をご使用ください。
車両のハブボルト（ボルト穴）と、取付けようとするナット（ボルト）の径・ネジピッチ・長さが合っていることを必ず確認してください。

 危険 取付けナット（ボルト）は、必ずホイール指定のものを使用してください。指定外の部品を使用して、十分な取付けができないと、走行中にホイールが脱落する場合があります。

ナット（ボルト）の取付け

取付けナット（ボルト）は車両メーカーの推奨トルク（不明な場合はM10で90N·m～100N·m、M12で110N·m～120N·m、M14で140N·m）で対角線上に均等に締付けてください。締過ぎはボルト穴やハブ穴の変形・ボルト破損等となり、締付け不足は緩みや脱落の原因となります。また、ナットのネジが10mm以上締まらない場合は取付けないでください。

警告 走行中にホイールが脱落する恐れがあります。ホイールを装着する際は、下記を必ず確認してください。
・車両の取付け面やハブボルトに錆・汚れ・変形がないこと。
・取付けるホイールと車両の取付け面の干渉（ピン・ボルト・センターボス・ワッシャー等とホイールとの干渉）が無いこと。
・取付けナット（ボルト）の締付けには、必ずトルクレンチをご使用ください。

取付けナット（ボルト）は締過ぎても、締付け不足でもホイール、ハブボルト等の変形やゆるみを引起こし、事故の原因となる場合があります。トルクレンチを使用して正しいトルクで締付けてください。

取付けナット（ボルト）の最終締付けに、インパクトレンチは使用しないでください。締過ぎはナット・ボルト・ホイールの変形を引起こし、事故の原因となることがあります。

アルミホイール装着の際は、常にスペアタイヤホイール取付け用ナット（ボルト）をスペアタイヤと一緒に保管してください。純正スペアタイヤホイール装着の際は、純正ホイールナット（ボルト）をご使用ください。

装着後の確認

車両に装着後は、タイヤ・ホイールがフェンダーからはみ出していないことを必ず確認してください。車両からはみ出した装着は法令で禁止されています。

空気圧の確認

走行前にタイヤの空気圧点検は必ず実施してください。
特に偏平タイヤは内圧不足による衝撃吸収性が低下し、タイヤ・ホイールを傷める原因にもなります。

異常時の注意と処置

警告 タイヤ・ホイールに変形や損傷を引起こすことがありますので、道路の縁石との接触・乗上げ・チャターバー（キャッツアイ）への乗上げ・凸凹路の高速走行は避けてください。ホイールが変形した状態で使用し続けると割れや亀裂の発生原因となります。

急発進・急制動・急旋回は、タイヤ・ホイールを傷めるだけでなく、重大な事故の原因にもなりますので絶対に避けてください。

 注意 走行中に異常振動や異常音を感じたら、直ちに安全な場所に停車し点検してください。変形等を起こしている場合は、使用を中止し販売店もしくはメーカーにご相談ください。